



佐渡の強みを 活かした 豊かな島を目指して

佐渡市将来ビジョン最終報告

市では、中長期の広い視野に立って市政運営を行うため、10年後の平成31年度を目標とする「佐渡市将来ビジョン」を取りまとめました。

将来ビジョンでは、10年後の目指すべき佐渡市の将来像を掲げ、その目標を実現するために「歳出・歳入改革」と「成長力強化戦略」を示し、市民全体で共有しながら、力をあわせて元気の島づくりを進めていきます。

「佐渡市将来ビジョン」の

2本柱

①歳出・歳入改革

市の歳入の約半分は、国からの地方交付税が占めています。この交付税が平成31年度には、現在の約200億円から約145億円になると試算しました。

これに自主財源である市税や使用料等の収入を加えて平成31年度の予算規模は309億円と設定しました。これは、現在の予算額と比べて、約

100億円少ない額となります。この予算規模にあわせ、歳出においては、人件費の削減や公共施設の統廃合等により、徹底した行政のスリム化を進めます。

②成長力強化戦略

予算規模が縮小されることに伴い、市内の経済活動の低下が懸念されます。このことから、経済成長力の向上を図ることが必要であり、中長期的な投資戦略を定めました。

成長力強化戦略では、「佐渡の豊かな自然の恵みを活かした産業おこし」と「佐渡の魅力を活かしたにぎわいの島づくり」を大きなテーマとします。これらを実現するためには、すべての産業が連携することが必要であり、農林水産業の振興と観光等交流人口の拡大を重点施策として取り組みます。あわせて、これらを支える基盤として、「交通インフラの整備」、「安全・安心な地域づくり」、「次世代を担う人材育成」に取り組みます。

この戦略に基づき既存の事業の選択

と集中を行い、重点政策として各年度においておおむね3億円の予算を確保することとします。



市内4会場で市長とのタウンミーティングを行い、市民の皆さんのご意見をうかがいました

